
UCHIDA CSR 報告書 2021

Corporate Social Responsibility Report 2021



トップメッセージ

Top Message



廃棄物を取り囲む社会環境の変化について

2020年度は色々な意味で未来を考えるきっかけとなった特別な年となりました。新型コロナウイルスの世界的な流行は、結果として積年の旧弊をあらわにすることとなりました。

また、地球環境の有限性が顕在化し、従来の成長至上主義の限界が強く意識されるようになってきています。1980年代に提唱されはじめた「サステナブルデベロップメント」の考え方は、現代では「SDGs」と呼ばれる取り組みとして、広く社会に認知されてきています。特に「脱炭素」に向けた取り組みは、全ての人が解決に向け取り組まなければならない大きな課題であると言えます。

廃棄物処理業は、これらの課題の解決に向け、特に重要な役割を担っている業種です。自らの役割を自覚し、年々厳しくなる環境に積極的に対処し、幸せな社会を構築すべく、日々の業務に積極的に取り組んで参りたいと考えています。

株式会社ウチダは循環型社会の構築に寄与し続けます

株式会社ウチダは、1985年の創業以来今日に至るまで、【棄てない・埋めない・燃やさない】をキーワードに、廃棄物の100%再資源化を目指して処理を行っています。

100%の再資源化への道のりは極めて困難なものではありますが、小さな工夫を積み重ねて、少しでも近づくようあきらめずに進む、きっとこれが一番の近道なのではないかと考えています。

このような努力の結果、例えば木くずの100%リサイクルを実現しています。当社オリジナルのスイングハンマー式破砕機で粉砕された木くずは、全量が家畜の敷料に使用されています。一般的な破砕機で破砕した木くずに比べ、碎片が丸みを帯びており、家畜のストレスを和らげることに役立っています。また、使用後の敷料は堆肥化され、高原キャベツや米の良質な肥料として使用された後、自然に帰るという理想的なリサイクルループが構築されています。

更に、塩化ビニール樹脂の再資源化についても、廃塩ビ管を中心に、これも当社製破砕機により、適切な粒度に破砕を行うことで、再生塩ビ原料の製造を行っています。

資源の循環的な利用に加え、廃棄物の更なる適正処理に努めてSDGsに貢献する、そんなことをウチダは常に考えています。

資源循環型社会への貢献こそが私たちの使命です

当社は廃棄物処理施設を工業専用地域に設け、建築基準法第51条、廃棄物処理法第15条に対応させるだけでなく、破砕機をはじめとするほとんどの処理施設を自社で開発・製作するとともに、施設の維持管理も自ら徹底して行うことと併せて、常に環境負荷の少ない高品質な再資源化製品を提供できる体制を実現いたしました。更に、コンプライアンス(法令順守、compliance)、CSR(企業の社会的責任、corporate social responsibility)に加え、SDGs(Sustainable Development Goals)の考え方を企業経営に取り込み、ISO14001認証に基づく環境管理や、労働安全衛生管理、定期的な社員教育、ホームページによる情報公開等を積極的に行うことを心がけています。

当社はこの仕組みをさらに向上させることで、排出事業者、地域の皆様、製品も数多くご愛用いただいている多くのユーザー様をはじめ、全てのステークホルダーの皆様から常に信頼され、愛される企業を目指しています。

目次

Contents

会社概要	3
組織図	4
沿革	5
ハイライト	7
環境とのかかわり	1 1
地域・社会とのかかわり	2 1
お客様とのかかわり	2 2
社員とのつながり	2 3
SDG ₅ への取り組み	2 5
第三者意見	2 6



牛も馬も豚も喜ぶウチダのオガコ

会社概要

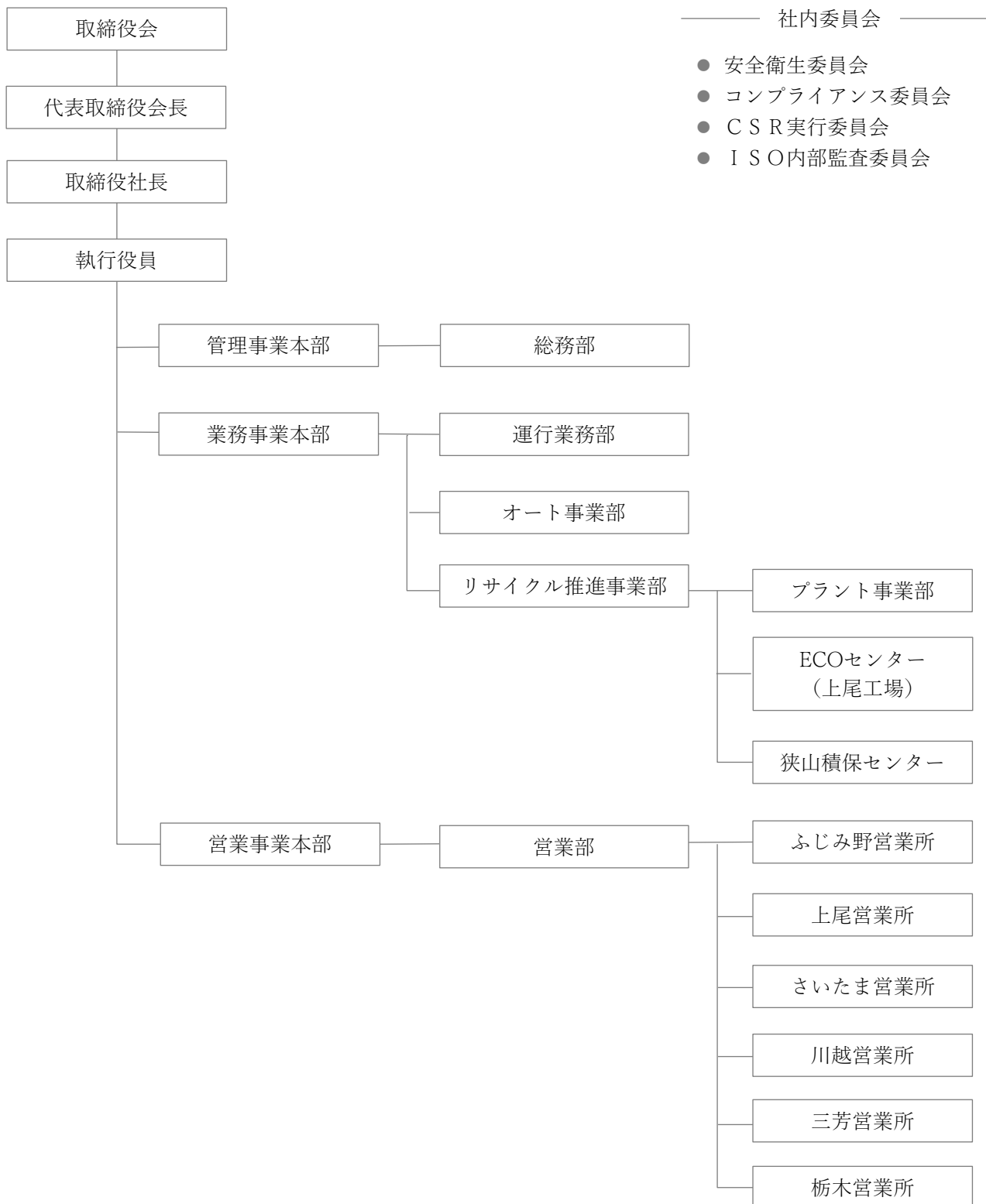
Company Guide

商 号	株式会社 ウチダ
資 本 金	5,000万円
会 社 設 立	1985年（昭和60年）2月20日
代 表 者 氏 名	代表取締役会長 内田 一二三
役 員	取締役社長 内田 千恵子 取締役 日野 弘幸 監査役 日野 佳乃与 専務執行役員 内田 朋美
本 社	〒356-0034 埼玉県ふじみ野市駒林18番地 TEL：049-263-9777
ふじみ野営業所	〒356-0052 埼玉県ふじみ野市苗間1-6-10 TEL：049-293-1128 FAX：049-293-1126
さいたま営業所	〒256-0052 埼玉県さいたま市桜区大字下大久保1219-1 メゾンノーブル102
川越営業所	〒350-1131 埼玉県川越市岸町二丁目18番4号
三芳営業所	〒354-0043 埼玉県入間郡三芳町竹間沢450-17-101
栃木営業所	〒329-3437 栃木県那須郡那須町大字簗沢527-2
狭山積保センター	〒350-1313 埼玉県狭山市上赤坂字妻恋ヶ原589番地1他 塩化ビニル管・継手管協会指定受入拠点
上 尾 工 場	〒362-0066 埼玉県上尾市領家字中井1119-1 （上尾領家工業団地内） TEL：048-782-0201（代） FAX：048-782-0204 塩化ビニル管・継手管協会指定受入拠点 塩ビ管・継手リサイクル契約 中間処理会社
栃 木 工 場	〒329-1411 栃木県さくら市鷲宿字大久保2864-1 （建設中）（設置許可 第300-4号、第300-5号）
事 業 内 容	産業廃棄物収集運搬業 営業地域：関東一円 特別管理産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業 産業廃棄物再生事業 一般廃棄物収集運搬業 一般建設業 埼玉県知事 許可（般-2）第51123号 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業 舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業 解体工事業 リサイクル機器設計・製造・販売業 中古自動車販売業
従 業 員	46名（2021年3月現在）
主 要 取 引 銀 行	埼玉縣信用金庫（上福岡支店）・三菱UFJ銀行（新座志木支店） 三井住友銀行（上福岡支店）・武蔵野銀行（上尾支店）
加 盟 団 体	一般社団法人埼玉県環境産業振興協会 一般社団法人東京都産業資源循環協会 公益社団法人栃木県産業資源循環協会 一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 塩化ビニル管・継手協会（賛助会員）



組織図

Organization system



沿革

History

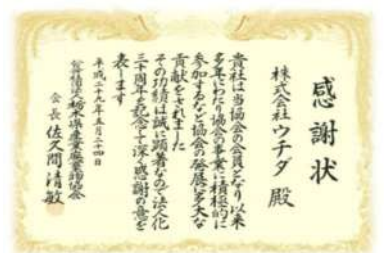
- 1985.02 有限会社内田商事 設立（埼玉県上福岡市）
- 1987.10 埼玉県を中心に産業廃棄物収集運搬事業を開始
順次営業エリア拡大
営業部設置（埼玉県狭山市）
- 1992.06 埼玉県富士見市に営業本部を設置
（みずほ台営業所）
狭山営業所は狭山積保センターに
- 1994.09 埼玉県知事より建設業許可取得
- 1995.05 「株式会社ウチダ」に社名変更
資本金を5000万円に増額
- 1997.05 産業廃棄物中間処分業を開始（埼玉県許可取得）
- 1998.06 廃棄物再生事業者登録取得（埼玉県）
- 1998.12 計量証明事業登録取得（埼玉県）
- 2000.04 廃棄物破碎処理機の自社開発に着手
- 2004.01 ISO14001認証取得
- 2004.01 特別管理産業廃棄物収集運搬業を開始
- 2004.06 電子マニフェストシステム加入
- 2005.01 一般貨物自動車運送事業許可取得
- 2006.12 更生保護事業への貢献がみとめられ、
さいたま保護観察所長より感謝状
- 2006.01 緑のトラスト運動協力企業として
- 2007.03 埼玉県知事より感謝状
- 2007.03 上尾工場の保管施設を追加
- 2007.11 狭山積保センターで石綿含有産業廃棄物の
積替え保管可能に
- 2008.12 上尾工場拡張
- 2010.02 東京都産廃エキスパート認定取得
（収集運搬業（積替え保管を除く））
以降、現在まで更新認定取得
- 2010.05 （社）埼玉県産業廃棄物協会より
「優良事業所表彰」を授与される
- 2011.04 塩化ビニル管・継手協会の契約中間処理工場に
指定される
（受入拠点：上尾工場・狭山積保センター）



沿革

History

- 2011 産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業 優良確認・
- 2012 優良認定を受ける（埼玉県他）
- 2012.06 緑のトラスト運動協力企業として埼玉県知事より感謝状
（公社）全国産業廃棄物連合会より
「地方優良事業所表彰」を受ける
- 2012.10 廃棄物再生事業者登録事業内容の変更（埼玉県）
- 2013.03 上尾工場の減容施設の廃止、保管施設の追加・廃止
保管面積の拡大
- 2013.08 上尾市社会福祉協議会より「感謝状」を授与される
- 2014.12 東京都産廃エキスパート更新認定取得
（収集運搬業（積替え保管を除く））
- 2015.01 埼玉県多様な働き方実践企業認定取得（シルバー）
- 2015.06 緑のトラスト運動協力企業として埼玉県知事より感謝状
- 2015.10 さいたま市産業廃棄物収集運搬業の許可が合理化により
許可期限で失効
- 2015.11 埼玉県の3S運動推進事業者に登録
- 2016.03 上尾工場にトロンメル導入
- 2016.06 （公社）全国産業廃棄物連合会より「地方功労者表彰」
を受ける
- 2016.11 ふじみ野市長より、ふじみ野市・三芳町環境センター
建設事業推進への貢献について、感謝状を授与される
- 2017.05 （公社）栃木県産業資源循環協会より感謝状を
授与される
- 2017.12 東京都産廃エキスパート更新認定取得
（収集運搬業（積替え保管を除く））
- 2018.07 緑のトラスト基金への寄附について埼玉県知事より
感謝状を授与される
- 2019.07 緑のトラスト基金への寄附について埼玉県知事より
感謝状を授与される
- 2019.12 埼玉県多様な働き方実践企業（ゴールド）に認定される
東京都産廃エキスパート更新認定取得
（収集運搬業（積替え保管を除く））



ハイライト

Highlights

デジタルタコグラフの全車導入

株式会社ウチダでは2013年10月にデジタルタコグラフを全車に搭載しました。

デジタルタコグラフとは車両の運行にかかる速度・時間等を自動的に記録する運行記録装置です。

導入したデジタルタコグラフは、運行データをリアルタイム通信で事務所に送信。運行管理、ドライバーの安全運転、労務管理をサポートしています。また、運転日報を確認することで、ドライバー自身の安全運転、エコドライブへの意識向上を図っています。



GPSにより全車両の運行状況を把握

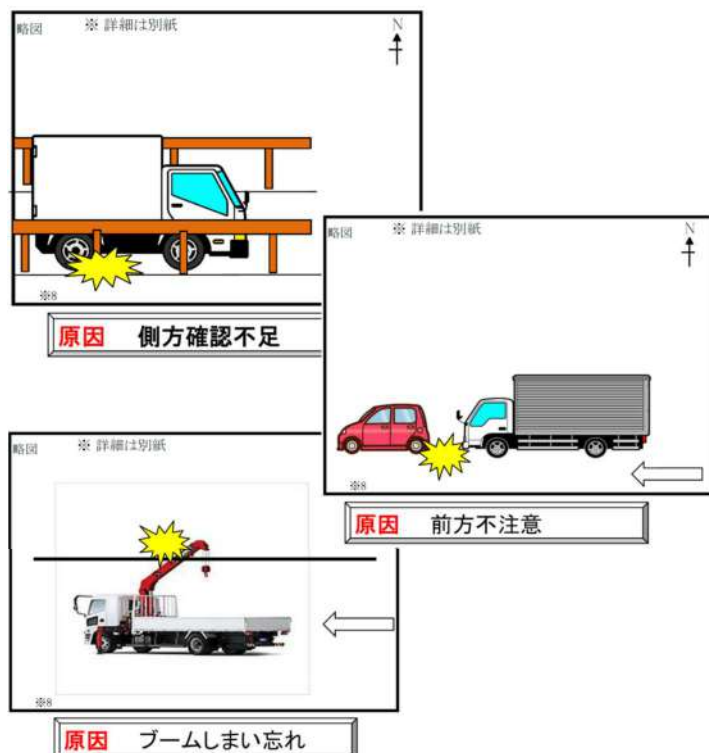


デジタルタコグラフを搭載した車両内部

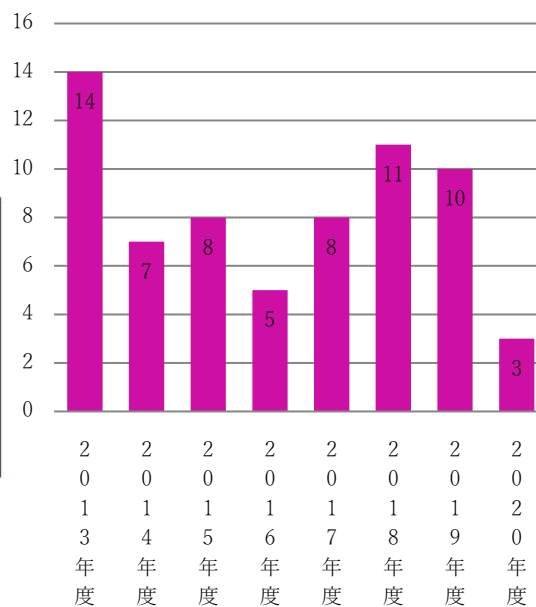


運転日報

事故記録



交通事故件数（累計）



■ 収集運搬車・営業車（デジタコ搭載）

事故記録は共有し、事故ゼロを目指しています。



ハイライト

Highlights

トロンメルの導入

2016年3月、手選別や振動振るい機では選別できなかった、廃棄物に付着した細かい付着物までも除去が可能となる、自社開発のトロンメルを導入しました。

導入により、管理型混合廃棄物を今まで以上に細かく選別できるようになります。



<特徴>

- スクリーン径を変えることで、様々な処理物の選別が可能
- 六角ドラム方式採用により、目詰まりしにくい
- シンプルな構造で、消耗品の交換や保守点検が容易

埼玉県多様な働き方実践企業に認定

埼玉県では、女性の力で埼玉経済を元気にする「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」を進めており、その一環として、「多様な働き方実践企業」を認定し、女性がいきいきと働き続けられる環境をつくり、従業員の仕事と子育て等の両立についての社会的気運の醸成を図っています。

株式会社ウチダも管理職（役員を含む）のうち女性が10%以上在籍していること等の認定基準を満たし、2015年1月から認定を受けています。

2019年12月1日に認定区分がゴールドになりました。



地域功労者表彰・感謝状授与

2016年6月17日 公益社団法人 全国産業廃棄物連合会より地方功労者表彰を受けました。

また、11月1日には、ふじみ野市長より、ふじみ野市・三芳町環境センター建設事業推進への貢献について、感謝状を授与されました。



ハイライト

Highlights

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



「ウチダ」の木くずリサイクル

建設現場



ウチダ 上尾工場

受入

1



2

展開・検査・粗選別



優良品を選別

3



4

一次破砕機・二次破砕

自社開発 スイングハンマー式破砕機



5

保管



畜産農家等へ



* 畜産農家等では敷料として利用されます

ハイライト

Highlights

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



「ウチダ」の木くずリサイクル

家畜の糞尿を加え堆肥を生産



畜産農家の言葉

肉牛団地

ウチダの生産する木くずの敷料（おがこ）は、皮膚に刺さらないので牛や豚がとても喜びます。



安心して寝そべることができるのでストレスが少なく、肉質の良い牛が育ちます。異物も全く混入していないので、人気が高く牧場間で取り合いをしているほどです。もっとたくさん供給するよう努力をお願いします。

キャベツ畑に使用

ブランドキャベツ



水田の肥料に使用



農業生産者の言葉

キャベツ生産者

ウチダのおが粉を使った敷料に家畜ふんが混ざると、とてもバランスの良い堆肥ができます。



他の堆肥と比べてキャベツの生育がとてもよく、1.5倍ほどの大きさに育ち、味がとても良いため、ブランドキャベツとして全量百貨店に販売しています。百貨店でも人気の商品だそうです。

環境とのかかわり

Relationship with the environment



廃棄物取り扱い実績(2019年度・2020年度実績)

廃棄物受入量 (m³)

廃棄物の種類	2019年度	2020年度
がれき類	9,203	6,788
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	8,382	7,792
廃プラスチック類	18,720	15,327
金属くず	3,325	2,901
紙くず	11,092	9,290
木くず	14,196	10,281
繊維くず	10	16
ゴムくず	0	0
合計	64,928	52,395



リサイクル量 (t)

廃棄物の種類	2019年度	2020年度
がれき類	9,229	6,896
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	8,418	8,070
廃プラスチック類	7,537	6,707
金属くず	3,242	2,876
紙くず	4,291	3,409
木くず	9,217	6,594
繊維くず	2	5
ゴムくず	0	0
混合残渣	185	313
合計	42,121	34,870

総量 (t)

	2019年度	2020年度
総量	44,759	36,051

最終処分量 (t)

	2019年度	2020年度
最終処分量	2,638	1,182

リサイクル率(2019年度・2020年度実績)

リサイクル率 (%)

廃棄物の種類	用途	2019年度	2020年度
がれき類	再生砕石	91	91
	石膏原料	—	2
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	再生砕石	81	84
	石膏原料	10	12
廃プラスチック類	農家資材	1	1
	熱原料	12	12
	プラスチック原料	76	84
金属くず	製造原料	98	99
	製紙原料	80	80
紙くず	熱原料・固形燃料原料	3	7
	畜産資材	14	5
木くず	畜産資材(敷料)	100	99
	畜産資材	71	81
繊維くず	ダスタークロス原料	18	19
	製造原料	—	—
ゴムくず	製造原料	—	—
混合残渣	熱原料(焼却・溶融)	7	21
合 計		94	97

四捨五入で計算して表記していることから合計値が合わない場合があります。

環境とのかかわり

Relationship with the environment

ISO14001の取り組み

株式会社ウチダでは、2004年1月30日、ISO14001認証を取得しました。

認証に基づき、企業活動によって生じる環境への負荷を、常に低減するよう配慮、改善を行っています。

登録概要

社名	株式会社ウチダ
適用規格	ISO 14001 : 2015
登録番号	AJAEU/19/14771
登録年月日	2004年1月30日
再登録年月日	2009年2月11日, 2012年2月11日, 2015年2月11日, 2018年2月22日, 2021年6月2日
有効期限	2024年2月11日
登録範囲	廃棄物の収集運搬・処分、破碎機の製造・販売、 中古自動車の購入・販売
登録事業所	本社、販売本部（ふじみ野営業所）、 Eco. Amusement Park in AGEO



環境理念

株式会社ウチダは産業廃棄物処理業の一員として良質な社会資本の形成を通し、より豊かな生活を実現する為に重要な役割と責任を担っています。当社の行う事業は環境との係わりが深く、その事業活動の中で環境保全に取り組んで行くことは企業としての当然の責務でもあります。このような観点に立って当社は自らの事業活動における環境負荷の低減はもとより、よりよい環境の創造に努め人間にとって真に快適な環境創造の担い手として経済の発展と環境の保全とが持続的に共存する新しい社会の実現を目指します。

基本方針

当社は環境法規制等のもとより、当社が同意した環境に関する外部からの要求事項についてもこれを順守します。

当社は産業廃棄物処理事業活動において、公害防止や汚染予防に常に取り組んでおります。

省資源、省エネルギー、副産物のリサイクル等を含め、汚染回避・低減・管理に積極的に取り組み、環境負荷の低減を図ります。

環境目的・目標の設定・目標達成のための実施計画を策定・実施し、それらの見直しや是正・予防措置を通じ環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

この環境方針は当社内の全社員に周知するほか、社外に開示します。

株式会社ウチダ 代表取締役 会長

内田 一三

2020年度活動実績・2021年度活動目標

項 目	2020年度		達成度	2021年度 目標
	目標	実績		
省エネルギーへの取り組み				
ふじみ野事業所				
事業所へのパッシブソーラーハウスの導入（2008年）	維持	維持	○	維持
水道水浄化用浸透膜装置の導入（2008年）	維持	維持	○	維持
グリーン調達の推進	購入額の20%	購入額の45%	◎	購入額の45%
カーボンオフセット付名刺の導入	導入率10%	導入率11.1%	○	導入率12%
上尾工場				
エコドライブの徹底	4.6Km/L	4.4Km/L	○	4.6Km/L
ドライバーズマニュアル（2009年策定）の周知徹底	継続	継続	○	継続
CO ₂ 排出量*1	前年比1%減	764.1t-CO ₂ 22%減	◎	前年比1%減
環境対応車両の導入（導入比率）	65台/93台	65台/93台	○	65台/93台
事業所・工場の照明LED化推進	全照明の60%	0.5%/年 増 施設全体の60.5%	○	全照明の61%
エコドライブの推進 （ドライブレコーダー、デジタルタコメーターの導入推進）	維持	維持	○	維持
資源の有効利用の推進				
リサイクル率の向上 現在のリサイクル率 5年後（基準年2012年実績）2017年度 実績で100%を目標とする	100%	97%	○	100%
工場施設メンテナンスの内製化による長期使用と効率化の推進 （総整備件数中の自社整備件数）	95%	95%	○	95%
収集運搬車両のメンテナンス内製化による長期使用の推進 （点検整備総数分の自社整備件数）	95%	94%	○	95%
生物多様性の確保				
木くずの再資源化の推進 （量の拡大） 敷料⇒堆肥化⇒有機減農薬農法の推進⇒生態系への環境負荷の軽減	前年比3%増	28.5%減	×	前年比3%増
水田・芋畑の管理、協力	7t 収穫	7t 収穫	○	7t 収穫

* 1 CO₂排出量は、(株)ウチダの排出量責任範囲である部分のみ（委託先の数値は合算していない）。



環境とのかかわり

Relationship with the environment

製造部門の実績

株式会社ウチダは産業廃棄物の処理だけではなく、処理機械の開発・製造・販売・維持管理も行っています。

製造装置の一例

環境展にて



モンスター	スリースター	ユニバーサルクラッシャー
 MONSTAR スイングハンマー破碎機 ダイレクトモータードライブ方式採用 レオシリーズ	 廃プラスチック用破碎機 スリースター simple and powerful three star uchida co., LTD.	 —スイングハンマー式破碎機— ユニバーサルクラッシャー uchida CO., LTD.
用途：木くず、石膏ボード、紙くず、廃畳、硬質プラスチックの破碎 大型大容量処理破碎機。投入口を特に広く設計。一次破碎機に最適。 特殊構造の投入スロープ床により細かな木くず、石膏片も吸引。カップリングを介したダイレクトモータードライブ方式を採用。	用途：軟質プラスチック、硬質プラスチック、繊維くず、紙くず、木くずの破碎 軟質、硬質を問わずあらゆるプラスチック製品を剪断破碎。軟質プラスチック（特にシート系）の処理能力が抜群に向上。低振動、低騒音。 バリエーション豊かなロストルと固定刃の組み合わせにより、粒度調整が可能。	用途：木くず、硬質プラスチック、石膏ボード、廃畳の破碎 特殊構造の投入口スロープ床により、細かな木くず、石膏も吸引。コンパクト。
		*いずれも、シンプルな構造の為、頑健。消耗品の交換等保守点検も容易です。

販売実績

納入先	納入機器
北海道旭川市	モンスター・ユースター・振動ふるい機・風力選別機・パーク用破碎機（振動ふるい付）
埼玉県岩槻市	ユースター・磁選機・ベルトコンベアー・ユースター用モーター
沖縄県具志川市	モンスター
愛媛県西条市	モンスター・磁選機・ベルトコンベアー
新潟県新潟市	圧縮梱包機
静岡県浜松市	振動ふるい機

環境とのかかわり

Relationship with the environment

製造装置設置例

「モンスタージュニア」と「ベルトコンベアー」「磁選機」を設置。塩ビ管・継手を破碎して塩ビペレット（チップ）を製造。

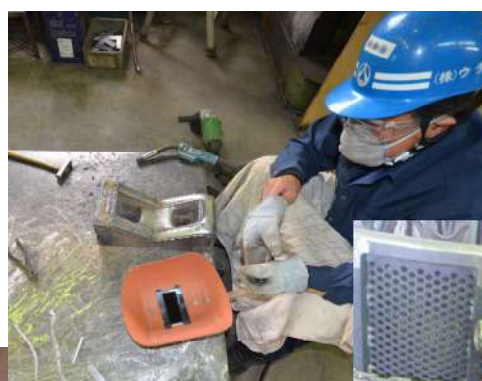


「モンスター」と「ユースター」を設置。オガコを製造。



装置のメンテナンス例とパーツ保管

溶接



破碎機の刃の
再生もりつけ



破碎機の刃



破碎機の部品

（オーバーサイズをリターン
させるために使用）



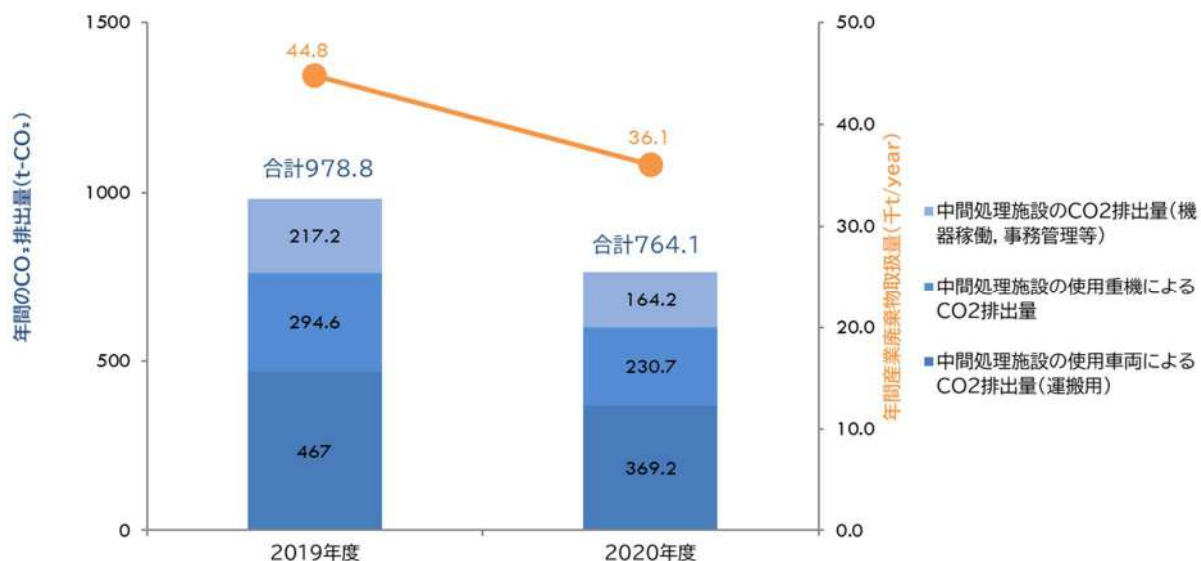
環境とのかかわり

Relationship with the environment

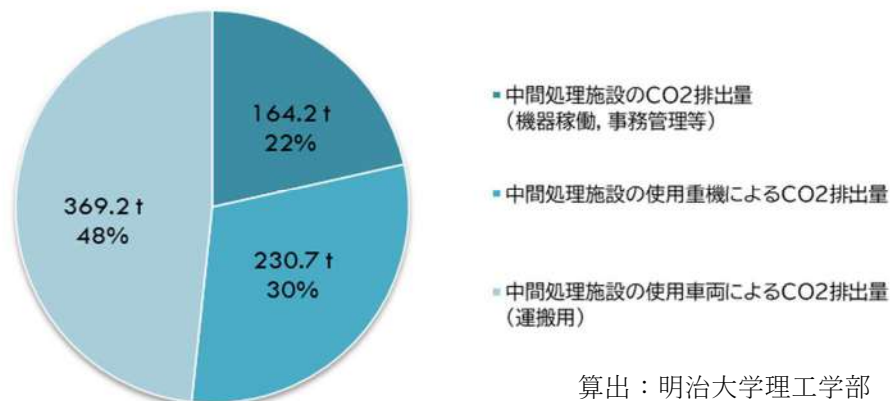
CO₂排出量(2019年度・2020年度)

項目		2019年度	2020年度
産業廃棄物取扱量 (t)		44,759	36,051
CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) (株)ウチダの 責任範囲	中間処理施設の年間総CO ₂ 排出量 (機器稼働, 事務管理等)	217.2	164.2
	中間処理施設の <u>使用重機</u> によるCO ₂ 排出量	294.6	230.7
	中間処理施設の <u>使用車両</u> によるCO ₂ 排出量 (運搬用) 注)	467.0	369.2
	合 計	978.8	764.1
委託先の 責任範囲	参考：(株)ウチダからの廃棄物処理（委託）に よるCO ₂ 排出量（焼却・溶融, 埋立）	152.4	158.6
総 合 計		1131.3	922.7

注) 産業廃棄物輸送における運搬車両全体のCO₂排出量である。



年間CO₂排出量内訳
2020年度



算出：明治大学理工学部 建築材料研究室

四捨五入で計算して表記していることから合計値が合わない場合があります。

環境とのかかわり

Relationship with the environment

CO₂排出量の明細

算出：明治大学理工学部 建築材料研究室

使用電力によるCO₂排出量

四捨五入で計算して表記していることから合計値が合わない場合があります。

項目	2019年度		2020年度	
	エネルギー消費量 (kWh/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	エネルギー消費量 (kWh/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
上尾	460,261	212.6	361,252	159.3
ふじみ野	10,699	4.9	11,170	4.9
太陽光発電 (売却)	-760	-0.4	-0	-0
合計	470,200	217.2	372,422	164.2

CO₂排出量[t-CO₂] =
電力消費量[kWh]
× 使用電力会社排出係数 [t-CO₂/kWh]

2019年度 排出係数 0.462 × 10⁻³
2020年度 排出係数 0.441 × 10⁻³

- ・ 排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)
- ・ 太陽光発電による電力売却分は合計に対し減算

▶ 電力消費量が減少しているのに伴いCO₂排出量も減少。



使用重機によるCO₂排出量

項目	排出量算定係数 (t-CO ₂ /kl)	2019年度		2020年度	
		エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
ガソリン	2.32	1.14	2.6	1.17	2.7
軽油	2.58	113.15	291.9	88.37	228.0
合計		114.29	294.6	89.54	230.7

CO₂排出量[t-CO₂] =
燃料消費量[kl]
× 使用燃料排出量算定係数[t-CO₂/kl]

▶ 軽油消費量が減少したこと
から CO₂排出量が減少。



運搬車両によるCO₂排出量 (燃料法)

項目	排出量算定係数 (t-CO ₂ /kl)	2019年度		2020年度	
		エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	エネルギー消費量 (kl/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
ガソリン	2.32	6.02	14.0	0.4	1.0
軽油	2.58	175.61	453.1	142.7	368.1
合計		181.63	467.0	143.1	369.2

CO₂排出量[t-CO₂] =
燃料消費量[kl]
× 使用燃料排出量算定係数[t-CO₂/kl]

- ・ 中間処理施設への搬入、
中間処理施設からの搬出
の合計

▶ ガソリン、軽油消費量
が減少したこと
から CO₂排出量が減少。



参考：(株)ウチダからの廃棄物処理 (委託) によるCO₂排出量

項目	廃棄物処理原単位 (t-CO ₂ /t)	2019年度		2020年度	
		廃棄物持ち込み量 (t/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	廃棄物持ち込み量 (t/年)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
埋立処分 (委託処理)	0.038	2,637.8	100.0	1,181.7	44.8
焼却・溶融 (委託処理)	0.262 0.283 0.375 0.411 持ち込み先による	184.9	52.5	312.8	113.8
合計		2,822.7	152.4	1,494.4	158.6

CO₂排出量[t-CO₂] =
廃棄物持ち込み量[t]
× 廃棄物処理原単位[t-CO₂/t]

- ・ 中間処理後の焼却・溶融、埋立処分
(委託処理) について算出

▶ (株)ウチダでの廃棄物受入量は減少しているが、CO₂排出量は増加。焼却・溶融について量が増加したこと、原単位大きい持ち込み先の割合が大きくなったことが要因。

▶ 委託先企業が負担する範囲となる。

環境とのかかわり

Relationship with the environment

CO₂排出量の経年変化 2013年度～2020年度

算出：明治大学理工学部 建築材料研究室

使用電力によるCO₂排出量



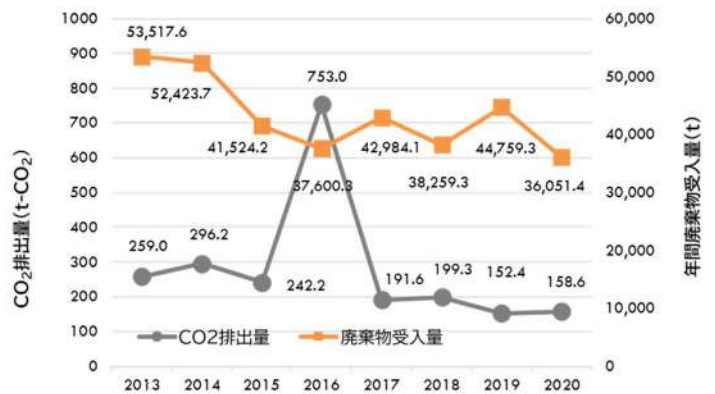
使用重機によるCO₂排出量



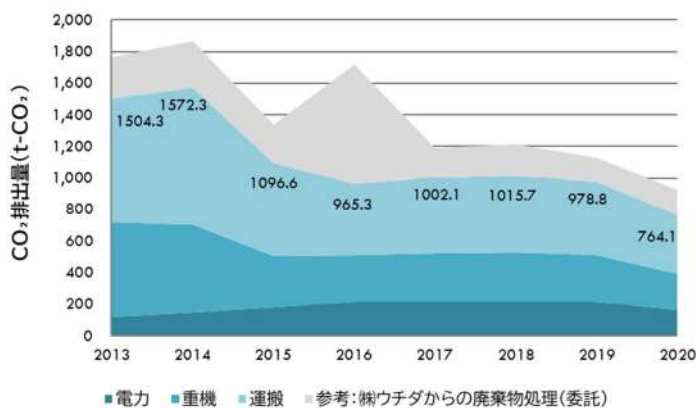
運搬車両によるCO₂排出量
(燃料法)



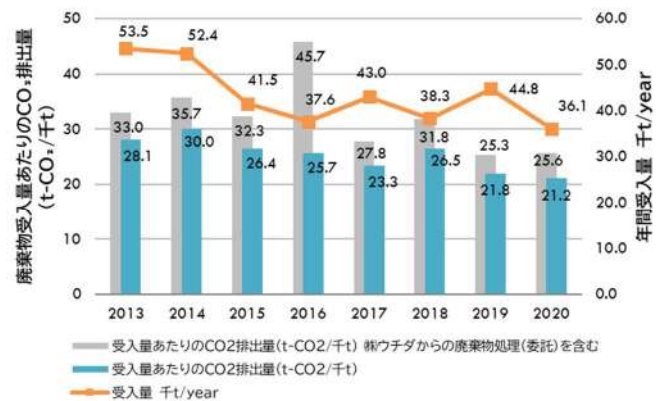
参考：(株)ウチダからの廃棄物処理（委託）
によるCO₂排出量



CO₂排出量（合計）



年間産業廃棄物受入量あたりの
CO₂排出量



Relationship with the environment

優良産廃処理業者認定制度とは、常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度です。2010年の廃棄物処理法改正に基づいて創設されました。

株式会社ウチダでは、廃棄物処理法改正前の旧制度（優良性評価制度）から情報開示等を進め、2011年5月から順次、埼玉県 産業廃棄物処分業、東京都、埼玉県、群馬県、千葉県、神奈川県 の産業廃棄物収集運搬業で優良認定を受けています。

許可番号 01120030676

産業廃棄物処分業許可証

住 所 埼玉県ふじみ野市駒林18番地
氏 名 株式会社 ウチダ
代表取締役 内田 一二三

優
良

産業物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する。

埼玉県知事

大野 元裕

許可の年月日 令和 3年 6月 2日

許可の有効年月日 令和10年 5月26日

1. 事業の範囲

中間処理

破砕：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、がれき類 以上8種類
破砕・減容：廃プラスチック類（塩化ビニルを除く。）、紙くず（圧縮固化に適したものに限る。）、木くず（圧縮固化に適したものに限る。）、繊維くず（圧縮固化に適したものに限る。） 以上4種類
圧縮梱包：廃プラスチック類、紙くず、繊維くず 以上3種類
圧縮：金属くず 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設

施設等の所在地

埼玉県上尾市大字領家字中井1116番4、1118番1、1118番2、1118番6、1119番1、1119番2、1119番3、1120番1、1120番2、1120番3、1120番5、1120番7、1120番8、1121番1、1121番2、1146番3、1146番7
以上17筆（面積4,465.0㎡）。

処理施設及び保管施設の概要は2頁から3頁のとおり。

3. 許可の条件

- (1) 中間処理及び処理に伴う保管は、2.に掲げる場所で行うこと。
- (2) 中間処理は、2頁に掲げる処理施設で行うこと。

4. 許可の更新又は変更の状況

許可(届出)年月日	指 令 番 号	変 更 内 容
平成 9年 5月27日	指令廃対第157号	新規許可
平成20年12月17日	指令産廃第1093号	変更許可（破砕・減容の追加及び事業場面積の拡大）
平成23年 5月31日	指令中環第233号	優良確認
平成24年 8月 1日	—	変更届（保管面積の縮小及び保管高さの増大）
令和 3年 6月 2日	指令中環第156号	更新許可（優良認定）

5. 規則第10条の4第7項の規定による許可証の提出の有無

無

[illegible]

式要第七号の二（第十条の二）(第1項)

神奈川県庁 登録番号 4-9-97号

許可番号 01405030600

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 東京都品川区大崎五丁目1番地

氏 名 株式会社ナダラ

法人にあっては代表者
個人にあっては本人

代表取締役 内田 一二三

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証明する。

神奈川県知事

黒 岩 祐 治

許可の年月日 平成 31 年 4 月 3 日

(初回許可年月日) 平成 4 年 3 月 31日

許可の有効年月日 平成 31 年 3 月 27日

1. 事業の範囲

(1) 事業の区分

収集運搬（損傷・保管を除く。）

(2) 産業廃棄物の種類（取扱う産業廃棄物は、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）

酸、堿、油類、有機溶剤、無機アミン、塩化水素ガス（※1）、硫酸（※2）、水素、木くず、繊維くず、動物性残渣、金属くず、金属くず（※2）、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず（※3）、プラスチック（※4）

※1：有毒有害産業廃棄物を指す。
※2：水使用用部材等産業廃棄物を含む。
※3：含有物質、本邦製造物については、その収集・運搬を指す。
※4：埋没物の調査並びに掘り出しのための作業を含む。

2. 登録番号第1号

第1号 第13-09-01030878号

業許可証

優良

付されたことを証明する。

合子

式要第七号の二（第十条の一）(第1項)

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 東京都品川区大崎五丁目1番地

氏 名 株式会社ナダラ

法人にあっては代表者
個人にあっては本人

代表取締役 内田 一二三

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証明する。

神奈川県知事

黒 岩 祐 治

許可の年月日 平成 30年 4 月 3 日

(初回許可年月日) 平成 37年 3 月 31日

許可の有効期間 平成 37年 3 月 31日

許可番号 第012000320676号	
産業廃棄物収集運搬業許可証	
住 所 埼玉県ふじみ野市駒林1-8番地	
氏 名 株式会社 ウナダ	優良 
代表取締役 内田 一二三	
本施設の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証明する。	
	
千葉県知事 鈴木 崇 印	
許可の年月日	平成20年1月27日
許可の有効年月日	平成31年9月24日
1. 事業の種類 (1) 事業の区分 収容・運搬（焼却・投棄を除く。） (2) 収集対象物の種類 汚泥、イ 腐敗スラック等類（石炭渣や産業廃棄物及び水銀使用製品廃棄物を含む、自動車等屋外物を除く）、ク 紙くず、エ 木くず、オ 金属くず、カ ゴムくず、キ 金属くず（自動車の燃費部品等を除く）、コ 繊維くずを含有し、ホ ガラスくず、ソ コンクリートくず及び陶磁器くず（石膏粉が産業廃棄物等の不純物を有する産業廃棄物を含む、自動車等屋外品を除く） ヤ 建築部材を含むものその他、 ヨ 雑物のうち「建設物」については、石膏粉を含む産業廃棄物	
許可番号：012000320676 業許可証 優良 	
取組むべき措置については、石膏粉を含む産業廃棄物 ・「本施設有害扱いじん等を含む」の記載のない用集引産業廃棄物。本施設有害扱いじん等を収集、	
県総監・東京監（事務所長室） ・市街及び許可番号を記載すること。 ・抽出の有無 希・無 ・付の右側の記載は下線をなすこと。	

産業第七号の二（第十条の一関係）

許可番号 0300002067

産業廃棄物収集運搬業許可証

住 所 埼玉県ふじみ野市野崎1-1番地

氏 名 株式会社ウダワ

代表取締役 内田一三

優良

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第1項の許可を受けた者であることを証明する。

群馬県知事 大澤 正剛

許可の日 月 日

平成 30年 7月 6日

許可の有効期間

平成 37年 7月 5日

1. 事業の範囲

(1) 事業の区分

収集、運搬

(2) 産業廃棄物の種類（諸規定に準拠を除く）

- ①燃え殻、②汚泥、③泥炭、④燐肥、⑤酸欠アルミ、⑥腐プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩自動車くず、⑪ゴムくず、⑫金属くず、⑬ガスをくず・コンクリートくず及び陶磁器くず。前記(1)～(11)（以上14種類）

※⑭については、石綿含有産業廃棄物及び水溶性使用製品系産業廃棄物（環境省令で定める水溶性HClを濃度付けるものを除く。）を含む。

※⑮については、水溶性使用製品系産業廃棄物（環境省令で定める水溶性HClを濃度付けるものを除く。）を含む。

※⑯については、石綿含有産業廃棄物及び水溶性使用製品系産業廃棄物（環境省令で定める水溶性HClを濃度付けるものを除く。）を含む。

※⑰については、石綿含有産業廃棄物を含む。

2 許可の条件

なし

3 許可の変更、変更の状況

平成 30年 7月 6日 新規許可

平成 8年 7月 6日 更新許可

平成 13年 7月 6日 更新許可

平成 13年 8月 21日 変更許可



環境とのかかわり

Relationship with the environment

各種試験結果報告

試験・分析の内容	試験実施日	試験・分析の結果
混合廃棄物の放射性セシウム濃度試験	2020年6月5日	放射性セシウム Cs_{137} 3Bq/Kg 放射性セシウム Cs_{134} 2Bq/Kg
混合廃棄物（中間処理破砕物）の熱しゃく減量計量	2020年3月16日	4.23%
おがこの肥料分析	2007年3月2日	クロム、カドミウム、鉛、ヒ素、水銀、ニッケル いずれも不検出
おがこの食品衛生検査	2019年3月25日	黄色ブドウ球菌 陰性 E.coli 30未満/100g（不検出） サルモネラ 陰性 腸管出血性大腸菌O-157 陰性

混合廃棄物の 放射性セシウム濃度試験

分析結果報告書

依頼No. P200808

発注日 令和元年3月15日

株式会社 ウチダ 様

ツネイン・カムツラマ株式会社 環境技術センター
〒122-0401 東京都足立区荒川1-12-1
TEL: 03-5812-0100 FAX: 03-5812-0101
計量業務課（主計部長 佐々木 孝一）
業務課（主任 佐々木 孝一）

検取年月日 令和元年3月15日 検取場所 東京都荒川区
検取時間 午前10時 検取者 佐々木 孝一
検取方法 採取時 採取方法 採取場所 採取方法

検取結果

放射性セシウム濃度	単位	検取結果	検取方法
放射性セシウム濃度	Bq/kg	3	採取時
放射性セシウム濃度	Bq/kg	2	採取方法

検取結果を下記のとおり報告いたします。

検取結果

放射性セシウム濃度	単位	検取結果	検取方法
放射性セシウム濃度	Bq/kg	3	採取時
放射性セシウム濃度	Bq/kg	2	採取方法

備考

※本報告書の一部のみを当社に照会していただき、あるいは他のものに転載することはご遠慮下さい。

混合廃棄物（中間処理破砕物）の 熱しゃく減量計量

試験結果報告書

依頼No. 2020-03-15

発注日 令和元年3月15日

株式会社 ウチダ 様

ツネイン・カムツラマ株式会社 環境技術センター
〒122-0401 東京都足立区荒川1-12-1
TEL: 03-5812-0100 FAX: 03-5812-0101
計量業務課（主計部長 佐々木 孝一）
業務課（主任 佐々木 孝一）

検取年月日 令和元年3月15日 検取場所 東京都荒川区
検取時間 午前10時 検取者 佐々木 孝一
検取方法 採取時 採取方法 採取場所 採取方法

検取結果

放射性セシウム濃度	単位	検取結果	検取方法
放射性セシウム濃度	Bq/kg	3	採取時
放射性セシウム濃度	Bq/kg	2	採取方法

検取結果を下記のとおり報告いたします。

検取結果

放射性セシウム濃度	単位	検取結果	検取方法
放射性セシウム濃度	Bq/kg	3	採取時
放射性セシウム濃度	Bq/kg	2	採取方法

備考

※本報告書の一部のみを当社に照会していただき、あるいは他のものに転載することはご遠慮下さい。

おがこの肥料分析

分析報告書

依頼No. 2007-03-02

発注日 平成17年3月2日

株式会社 ウチダ 様

ツネイン・カムツラマ株式会社 環境技術センター
〒122-0401 東京都足立区荒川1-12-1
TEL: 03-5812-0100 FAX: 03-5812-0101
計量業務課（主計部長 佐々木 孝一）
業務課（主任 佐々木 孝一）

検取年月日 平成17年3月2日 検取場所 東京都荒川区
検取時間 午前10時 検取者 佐々木 孝一
検取方法 採取時 採取方法 採取場所 採取方法

検取結果

放射性セシウム濃度	単位	検取結果	検取方法
放射性セシウム濃度	Bq/kg	3	採取時
放射性セシウム濃度	Bq/kg	2	採取方法

検取結果を下記のとおり報告いたします。

検取結果

放射性セシウム濃度	単位	検取結果	検取方法
放射性セシウム濃度	Bq/kg	3	採取時
放射性セシウム濃度	Bq/kg	2	採取方法

備考

※本報告書の一部のみを当社に照会していただき、あるいは他のものに転載することはご遠慮下さい。

おがこの食品衛生検査

試験検査成績書

依頼No. 2019-03-25

発注日 平成31年3月25日

株式会社 ウチダ 様

ツネイン・カムツラマ株式会社 環境技術センター
〒122-0401 東京都足立区荒川1-12-1
TEL: 03-5812-0100 FAX: 03-5812-0101
計量業務課（主計部長 佐々木 孝一）
業務課（主任 佐々木 孝一）

検取年月日 平成31年3月25日 検取場所 東京都荒川区
検取時間 午前10時 検取者 佐々木 孝一
検取方法 採取時 採取方法 採取場所 採取方法

検取結果

放射性セシウム濃度	単位	検取結果	検取方法
放射性セシウム濃度	Bq/kg	3	採取時
放射性セシウム濃度	Bq/kg	2	採取方法

検取結果を下記のとおり報告いたします。

検取結果

放射性セシウム濃度	単位	検取結果	検取方法
放射性セシウム濃度	Bq/kg	3	採取時
放射性セシウム濃度	Bq/kg	2	採取方法

備考

※本報告書の一部のみを当社に照会していただき、あるいは他のものに転載することはご遠慮下さい。

地域・社会とのかかわり

Relationship with the community



地域農業支援

田植え



収穫作業



埼玉県産 コシヒカリ

いるま野農業協同組合主催の秋の収穫祭農産物品評会において、特別賞を受賞しました



地域清掃活動

埼玉県「地域清掃気軽に登録制度」に
2017年8月登録しました。

【活動頻度】年1回以上

【活動人数】15名

【活動地域】道路・広場／公園
(代々木公園／渋谷／原宿周辺
上尾市領家工業団地内)

2018年6月22日実施 上尾領家工業団地清掃



お客様とのかかわり

Relationship with customers



工場見学会・お客様向け勉強会

株式会社ウチダでは、お客様である廃棄物の排出事業者の皆様をはじめ、広く一般に、随時処理施設の見学を受け入れています。

排出事業者の皆様には、現場で分別された廃棄物が処理される様子や、自社開発のリサイクル機器の性能、工場での環境配慮の実際をご確認頂いております。

また、ご要望に応じて、現場監督や作業員への現場分別指導や、排出事業者として順守しなければならない法規制等の内容についての勉強会を行っています。



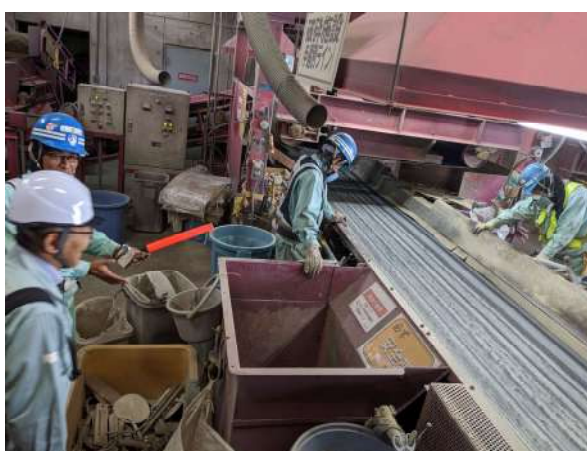
2019年2月27日 排出事業者による見学の様子



2019年4月7日実施 排出事業者による見学の様子



2019年11月8日実施 排出事業者による見学の様子



社内勉強会

株式会社ウチダでは、産業廃棄物処理業をはじめとする各分野で、社員ひとりひとりがプロフェッショナルとして通用する人材に育つよう、資格取得の奨励はもとより、定期的に環境関連法令等の社内勉強会を開催したり、外部講習会へ積極的に参加させるなどして、社員教育、人材育成に力を入れています。



<2020年度社内勉強会実施状況>

2020年度はコロナ禍のため、集合しての勉強会を開催していません。下記内容について資料をもとに各自で自習いたしました。

- ・ フロン排出抑制法改正2020年4月施行について
- ・ 産業廃棄物排出量・不法投棄量2019について
- ・ 土壌環境基準・土壌汚染対策法基準見直しについて
- ・ コロナが与える建設・住宅市場への影響と取るべき対策について
- ・ 産業廃棄物処理施設の設置・産業廃棄物処理業の許可等に関する状況（平成29年度実績）について
- ・ 再生砕石について
- ・ 残置物について
- ・ 建設リサイクル推進計2020概要について
- ・ プラスチックの輸出に係るパーゼル法該非判断基準2021年1月1日施行について
- ・ オンライン視察について
- ・ 2020年石綿則・大防法改正について
- ・ プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について
- ・ その他廃棄物、廃棄物処理業、リサイクル、行政処分等に関する時事ニュース

<2020年度外部講習会受講状況>

修了日	講習会の名称	実施者	修了証番号
2020年9月18日	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（更新）処分課程	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター	第620473523号 第620473525号
2020年9月18日	産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（更新）収集・運搬課程	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター	第520384512号 第520384518号
2021年2月17日	一般廃棄物処理業許可更新講習	一般財団法人日本環境衛生センター	第20388号

社員とのつながり

Connection with employees

安全衛生の取り組み

株式会社ウチダでは、日々安全を念頭におきながら企業活動を行っていくため、安全衛生教育や労働安全衛生についての活動を行っています。

防災訓練



場内安全標識



事故防止のため重機と人の動線を区画するパイロンとバーの設置、RL2マスク装着



作業手順書

産業廃棄物処分作業手順書



KY活動実施の様子



安全帯の使用



SDGsへの取り組み

For Sustainable Development Goals



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

埼玉県環境SDGs取組宣言企業です

廃棄物・3Rの推進

- ・ 廃棄物の適正処理を確実に実施
- ・ 分別の徹底やリサイクルの実施で廃棄物の発生を削減
⇒ 木くず：おが粉として再生され、畜産農家で敷料として利用。
糞尿と混ざり、たい肥となったおが粉は、水田やキャベツ畑で肥料として利用。（食品衛生検査等実施）
⇒ 塩ビ管・継手：塩ビペレット（チップ）として再資源化され、再生塩ビ管原料となる。
- ・ 木くずリサイクルへの取り組みを通じて森林減少に間接的に寄与
- ・ リサイクル機器開発を通して、資源利用効率を向上させ、持続可能性を向上
- ・ 社内でグリーン調達を積極的に推進することで、廃棄物の再生利用に貢献



省エネ・化学物質等・気候変動

- ・ 事務所へパッシブソーラーハウス・太陽光発電装置を導入
- ・ 適正処理を確実に実施することにより、有害化学物質を削減、
ならびに大気・水質及び土壌の汚染を防止
- ・ CO₂削減目標を設定、達成するための計画を立案し継続的に取り組む
⇒ 2013 年より継続して実施、CSR 報告書で公表



人材育成・環境学習

- ・ 積極的な従業員教育を実施
- ・ 地域住民や取引先企業への工場見学や講習を実施



社会貢献活動

- ・ 上尾ものづくり協同組合主催の環境保全活動参加
- ・ さいたま緑のトラスト運動への寄付を通じ、県内の環境保全管理や緑の保全の大切さの普及に貢献
⇒ 2007 年より継続して寄付
- ・ 大学への学術研究奨励寄付を通じて、産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力の向上に寄与



第三者意見

Opinions from third parties

1. 産業廃棄物処理業界を取り巻く環境と成果について

新型コロナウイルスの流行の継続は、生産活動の低下を招くほど大きな影響を様々な企業に与えています。そのあおりを受け、産業廃棄物の発生量も全体的に減少しており、今回の報告書でも、受け入れ廃棄物量が2割近く減少していることがわかります。その影響の大きさには今更ながら驚かされます。

今回の報告書において特筆すべきことは、リサイクル率の上昇です。94%というもともと高かったリサイクル率が97%まで上昇しています。木くずのリサイクル率が99%にとどまったのは、製品の品質をさらに向上させた結果によるものと理解しています。次年度以降も更なるリサイクルの高みが期待できそうです。また、CO₂の排出量も廃棄物受け入れ量の減少より大きく削減させており、評価できるポイントであると言えます。

2. 株式会社ウチダに期待すること

廃棄物の処理を担う企業にとって常に求められる主要ポイントは次のとおりです。

- ① 適切な情報公開がなされていること
- ② リサイクル率が極めて高いこと
- ③ 確実なリサイクル先を確保していること
- ④ リサイクル先の受け入れ基準に合致する品質を担保すること

これらの視点から株式会社ウチダの姿勢を見てみると、木くずと塩ビ管のリサイクルの事例に端的にみられるように、きれいなリサイクルループを描くことのできる事業に取り組んでいることに加え、次のステップに向けてSDGsへの積極的な取り組みを強化していることがわかります。目先の利益を追うことの多い業界において、この姿勢を保っていることは十分に評価をすべきポイントであると言えるでしょう。

結果として自社の強み、弱みを炙り出すこととなった「コロナ禍」を奇貨として、企業の体力を強化し、姿勢をさらに正していくことが、排出事業者をはじめとする社会の要請に応えることに直結します。廃棄物処理業にとって、本業を推進・強化することがSDGs達成への王道であり、近道でもあります。

株式会社ウチダには、今回の実績に満足せず、理想実現に向けて業界の模範となるべく更なる高みを目指すことを期待いたします。

早稲田大学 環境総合研究センター
招聘研究員 上川路 宏

ご意見をいただいて

株式会社ウチダ CSR報告書2021について、貴重なご意見いただき誠にありがとうございました。

脱炭素社会や循環型社会の実現など環境分野の課題が日々取り上げられる中、「静脈産業」と言われている私共の事業が率先して循環型経済を推進し、SDGsの実現に向けた取り組みを展開するべきだと思っております。

『廃棄物の抑制』『資源効率の向上』『CO₂排出量の削減』といった環境SDGsの基本については、弊社ではCSR報告書作成当初より取り組んでまいりました。

その経験・実績を元に、埼玉県環境SDGs取組宣言企業、埼玉県SDGsパートナーに登録し環境、社会、経済におけるSDGs達成に向けた具体的な取組を今後も促進していきたいと思っています。

株式会社ウチダ CSR実行委員長 内田 朋美



営業本部
(ふじみ野営業所)

ECO.AMUSEMENT PARK IN
AGEO (上尾工場)

〒356-0052 埼玉県ふじみ野市苗間1-6-10
TEL : 049-293-1128 FAX : 049-293-1126

〒362-0066 埼玉県上尾市領家字中井1119-1
TEL : 048-782-0201 FAX : 048-782-0204

E-mail: e-eco-uchida@bh.wakwak.com